

RC 床用配管埋設貫通部防火措置材  
タフロックサブウェイ

仕様書 兼 施工要領書

品番:TAFSUB

 **ネグロス電工株式会社**

技 術 部

1. 製品概要

タフロックサブウェイ(以下、本製品)は、天井に埋設された合成樹脂製可とう電線管(PF・CD管)に、ケーブルが貫通した場所への、防火措置を行う為のキット製品です。

2. 耐火性能と適用範囲

(一財)日本消防設備安全センター評定(共住区画)

本製品は、「特定共同住宅等の住戸等の床又は壁並びに当該住戸等の床又は壁を貫通する配管等及びそれらの貫通部が一体として有すべき耐火性能を定める件(平成17年消防庁告示第4号)」に規定された耐火性能を有しているものとして、(一財)日本消防設備安全センター評定を取得しています。(表-1)

表-1. (一財)日本消防設備安全センター評定条件

(一財)日本消防設備安全センター評定番号		KK27-021号	KK27-022号	KK28-010号	KK28-009号
適用躯体 (共住区画の床・壁)		鉄筋コンクリート床(RC・SRC) 厚さ100mm以上			
		鉄筋コンクリート壁(RC・SRC)および軽量気泡コンクリート壁(ALC) 厚さ75mm以上			
施工図		<p>PF・CD 管突出し</p>	<p>PF・CD 管突出し</p>	<p>ケーブル突出し</p>	<p>ケーブル突出し</p>
施工条件		合成樹脂製可とう電線管埋設貫通	カップエンド埋設貫通	エンドカバー埋設貫通	合成樹脂製可とう電線管埋設貫通
貫通物条件 (貫通物の適用種類および通線本数:1開口あたり)	合成樹脂製可とう電線管の呼び	PF・CD 管呼び 28 以下			CD 管呼び 28 以下
	ケース1 (管内貫通物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・600V CE/F 38 mm<sup>2</sup>以下×1 本以下</li> <li>・600V EEF/F 2 mm×3C 以下×1 本以下</li> <li>・光ケーブル(外径10.2 mm以下)×1 本以下</li> <li>・同軸ケーブル EM-S-7C-FB(外径9 mm以下)×1 本以下</li> <li>・LAN ケーブル OKTP-E5-0.5×4×1 本以下</li> </ul>			

3. 標準施工図

本製品の標準施工図を図-1、図-2 に示します。

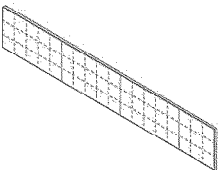

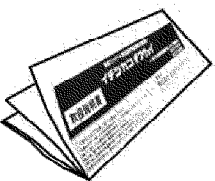
#### 4. 品番および構成材料

本製品の品番および構成材料を表-2 に示します。また、構成材料の仕様を表-3 に示します。

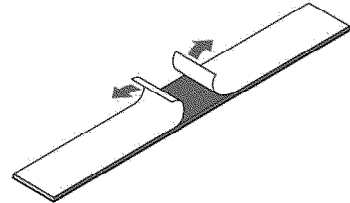
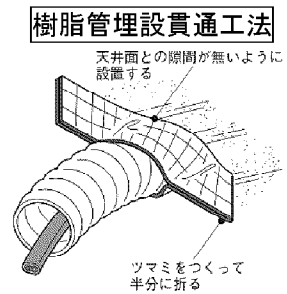
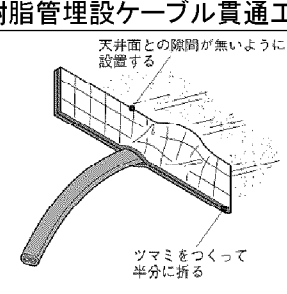
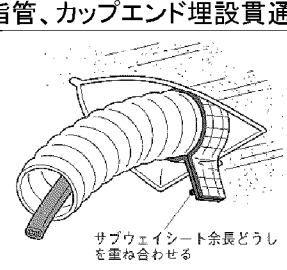
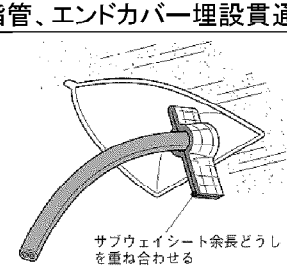
表-2 品番および構成材料

品番	構成材料		
	サブウェিশート (枚)	施工済シール (枚)	取扱説明書 (枚)
TAFSUB	20	20	1

表-3 構成材料の仕様

名称・形状	仕様	
サブウェিশート  (220×30×2.5)	用途	PF・CD 管およびケーブルの突き出し部分に巻き付ける材料です。
施工済ラベル 	用途	共住区画以外での施工に際し、施工完了後に貼り付けるシールです。
取扱説明書 	用途	製品仕様、施工要領、施工上の注意事項等を記載した書類です。

5. 施工手順

<p><b>①剥離紙の除去</b> サブウェイシート裏面の剥離紙(白色)を剥がします。</p>	
<p><b>②サブウェイシートの巻付け</b> ②-1.どちらか片側の貫通部に、半分に折ったサブウェイシートを天井面に隙間なく沿わせ、樹脂管(ケーブル)を挟んで巻き付けます。</p>	<p><b>樹脂管埋設貫通工法</b> 天井面との隙間が無いように設置する ツマミをつくって半分に折る</p>  <p><b>樹脂管埋設ケーブル貫通工法</b> 天井面との隙間が無いように設置する ツマミをつくって半分に折る</p> 
<p>②-2.どちらか片側のカップエンド(エンドカバー)コネクタ部に一周巻き付け、サブウェイシートの余長どうしを重ね合わせます。</p>	<p><b>樹脂管、カップエンド埋設貫通工法</b></p>  <p>サブウェイシート余長どうしを重ね合わせる</p> <p><b>樹脂管、エンドカバー埋設貫通工法</b></p>  <p>サブウェイシート余長どうしを重ね合わせる</p>

## 6. 使用上の注意事項

- 製品を取り扱う際には保護具を着用し、角部・端部(エッジ部)に注意してください。怪我の恐れがあります。
- 直接水のかかるところや高温多湿の環境下での使用はしないでください。
- 適合場所は紫外線のあたらない屋内です。
- 防水性能はありません。必要な場合は別途、防水処理してください。
- ケーブル、配管の支持機能はありません。別途、支持してください。
- 内線規程を守って施工してください。
- ロクマルシートでは代用できません。
- 一度シートどうしを貼り付けると剥がせません。施工時は注意してください。
- 防火区画貫通部に使用する場合には、行政へ事前に確認してください。
- 共住区画貫通部にご使用の場合には、(一財)日本消防設備安全センターの規定により、消防評定プレートの貼り付けが必要となります。
- 附属の「取扱説明書」を紛失しないよう注意してください。
- 施工済ラベルは、国土交通大臣認定を表示するラベルではありません。共住区画以外で施工した場合にご使用ください。
- 消防評定プレートは弊社ホームページから請求できます。

## 7. その他

本書記載の内容は、製品改良等のため、お断りなく変更する場合があります。

以上

部番		部品名	個数	材質	表面処理	備考
		本体	1	熱膨張材		規格表: 30×20×2.5t

**合成樹脂製可とう電線管直埋設置通 (KK27-021号)**

**合成樹脂製可とう電線管直埋設置通 (KK28-010号)**

**カップエンド埋設置通 (KK27-022号)**

**合成樹脂製可とう電線管 貫通物条件**

合成樹脂製可とう電線管: PF・CD管 呼び28以下  
C管内埋設物  
・600V CE/F 38mm以下×1本以下  
・600V EEF/F 2mm×3C以下×1本以下  
・光ケーブル (外径10.2mm以下) ×1本以下  
・同軸ケーブル EM-S-7C-FB (外径9mm以下) ×1本以下  
・LANケーブル OKTP-E5-0.5×4×1本以下

タフロックサブウェイ					
TAFSUB					
訂正	R	度	NTS		
S14085			20'18/07/12		
承認	設計	製図	検査	投影法	3角法
(株) 内蔵 (有)	(株) 内蔵 (有)	(株) 内蔵 (有)	(株) 内蔵 (有)		
<b>タフロック工業株式会社</b>					
TAFSUB.0					

図-1.TAFSUB KK27-021号、KK27-022号、KK28-010号 標準施工図

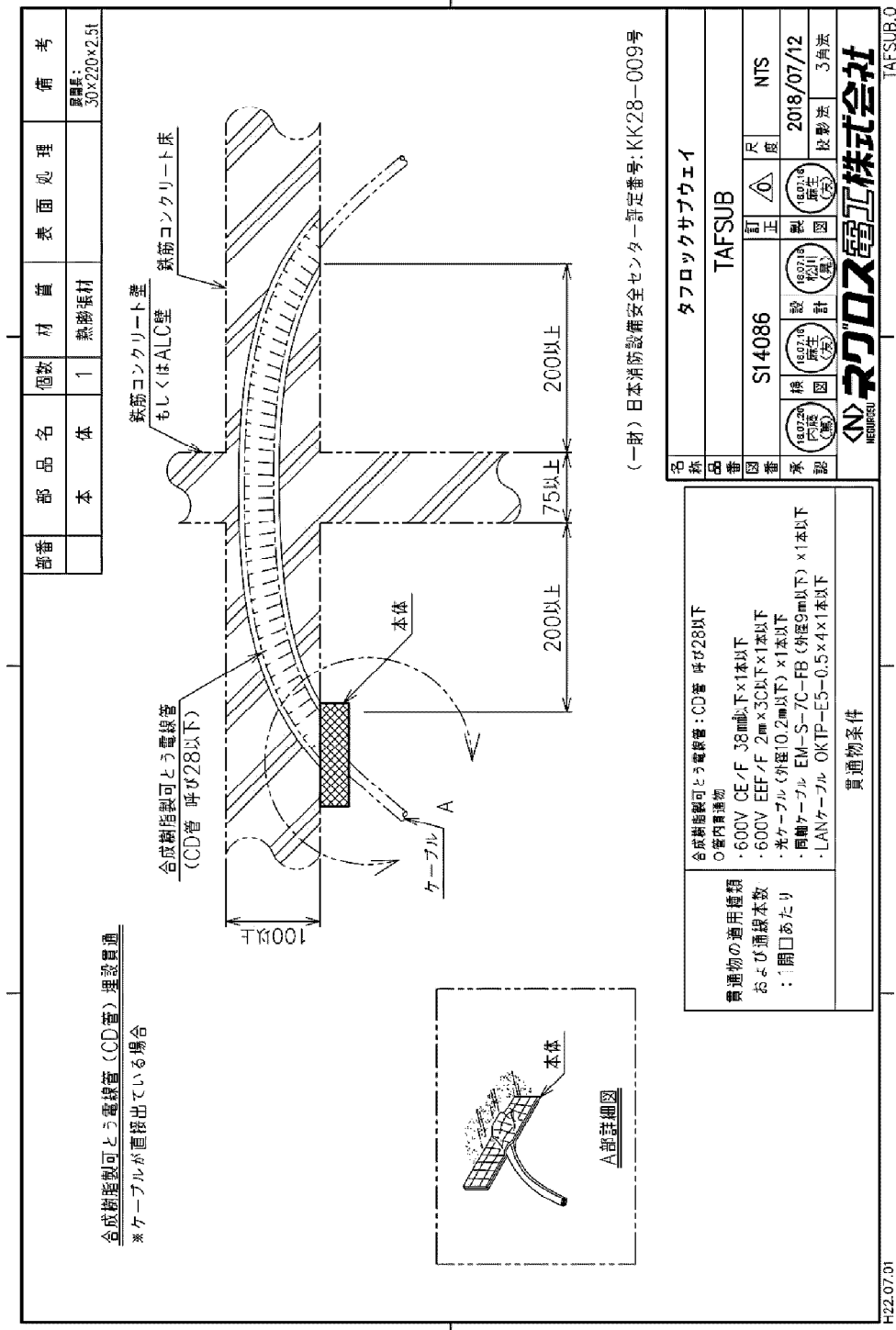







図-2.TAFSUB KK28-009号 標準施工図








**安全に関するご注意**

ご使用前に必ずこの「安全に関するご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
ここに示す注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

◆ 図記号の意味は、次のとおりになっています。

 <b>禁止</b>	： してはいけないことを表しています。
 <b>指示</b>	： しなければならないことを表しています。
 <b>注意</b>	： 気をつける必要があることを表しています。

 <b>警告</b>		床大開口部施工後は踏み抜きに注意してください。貫通部防火措置部の上に乗ったり重量物を置かないでください。
		子供・幼児の手の届くところに材料部材を置かないでください。
		単心の電力ケーブルが貫通する場合は周囲に鉄系の金具を配置しないでください。
		最大開口面積または直径以下で施工してください。
		ケーブル等の貫通物種類および貫通物占積率は取扱説明書および認定書・評定書に従ってください。
		取扱説明書また認定書・評定書に従って施工してください。
	貫通部防火措置部の仕上がり時は隙間のできないように施工してください。	
	液体状のものを扱う場合は保護めがねを着用してください。	
	繊維状または粉状のものを扱う場合はマスクおよび保護めがねを着用してください。	
 <b>注意</b>		床または壁貫通部の近傍に可燃物を置かないでください。
		防水性が要求される場合は別途施工してください。
		ケーブルまたは配管類の支持機能はありません。別途固定支持してください。
		施工完了後は工法表示ラベルを表示してください。再施工時は工法表示ラベルを更新してください。
		耐熱シール材等のパテを扱う際は保護具を着用してください。
		金具を扱う場合は保護具を着用してください。
		特殊な環境下で使用される場合は事前に相談ください。
		材料は貫通部以外の部分に使用しないでください。



**免責事項**

(1) 防火区画貫通部防火措置が認定又は評定通りの耐火性能を得るためには、施工品質が大変重要になります。これらを施工するにあたり、認定・評定条件、施工方法をよくご理解いただき、施工者及び建物管理者の責任において施工及び維持管理していただきますようお願い致します。

(2) 以下のような場合において問題が生じた場合、当社として責任を負いかねますのでご了承ください。

- ① 認定・評定条件以外の施工を行った場合（個別の取り決めに依る仕様は除く）
- ② 弊社指定以外の材料を使用した場合
- ③ 本来の使用目的以外に使用した場合
- ④ 再通線、改修工事などにおいて、不適切な施工により問題が生じた場合
- ⑤ 「安全に関するご注意」を守らなかった場合
- ⑥ 適切な維持・管理が行われていない場合
- ⑦ 通常の経年変化（使用に伴う消耗、磨耗など）や経年劣化、またはこれらに伴うほこりによる仕上がりの変化の場合
- ⑧ 周辺環境に起因する場合（例えば、酸性・アルカリ性のガス、異常な高温・低温・多湿、結露など）
- ⑨ 躯体の変形など、製品以外の不具合に起因する場合
- ⑩ 犬、猫、鳥、鼠、蛇などの小動物・昆虫やツルや根などの植物に起因する場合
- ⑪ 犯罪、いたずらなどの不法な行為に起因する場合
- ⑫ 戦争・紛争・天災その他の不可抗力による場合（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、など）
- ⑬ 実用化されている技術では予測不可能な現象、またはこれが原因による場合